

令和6年度 直方市 決算要点紹介

令和6年度の市の決算が議会で認定されました。
その内容について、説明します。

✓CHECK 1 まずは基本から 令和6年度も実質収支は 黒字となりました

令和6年度は、一般会計（※1）の歳入総額が約337億7千万円、歳出総額が約323億5千万円、収入から支出を差し引いた収支（形式収支）は約14億2千万円の黒字です。

これから令和7年度に繰り越して行うことになった事業に要する経費を除いた収支（実質収支）では、約13億4千万円の黒字決算です。

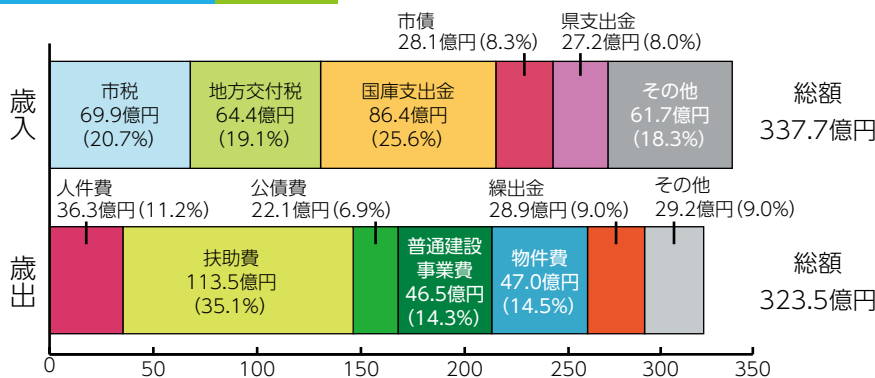
単年度で見た場合の収支（実質単年度収支）では、約4億2千万円の黒字となりました。

前年度に引き続き、令和6年度も基金の取り崩しによる財源調整は行っておりません。

歳入の中身を見ると、地方交付税、国県支出金、市債といった国税、市税等の自主的に確保できる財源の割合は、全体の約4割にとどまっています。

これは、直方市の財政運営が依然として、国の地方財政計画等によつて大きく左右される状況にあるといえ、これらの依存財源のうち主なものである地方交付税については、増加傾向となっています。自主財源のうち市税については、定額減税の実施により、減額となりました。歳出では、物件費、維持補修費、

一般会計決算 グラフ①



特別会計 表①

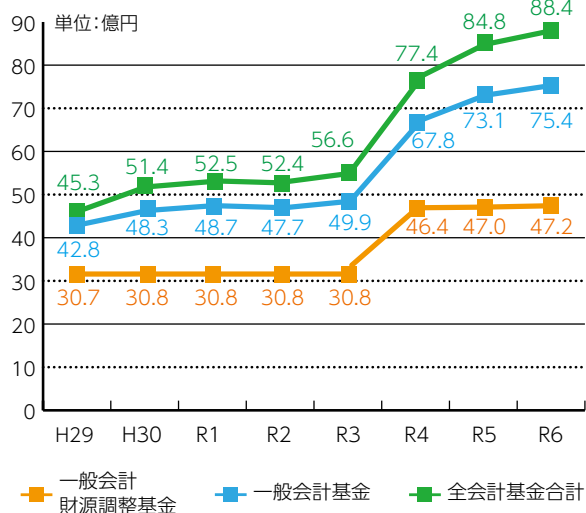
● 国民健康保険特別会計		● 後期高齢者医療特別会計	
歳入	57億1,871万円	歳入	11億6,824万円
歳出	56億5,587万円	歳出	11億3,613万円
● 同和地区住宅資金貸付事業特別会計		● 上頓野産業団地造成事業特別会計	
歳入	2,203万円	歳入	1,778万円
歳出	1,770万円	歳出	1,778万円
● 介護保険特別会計(保険事業勘定)			
歳入	64億4,020万円		
歳出	64億3,617万円		
● 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)			
歳入	5,955万円		
歳出	5,955万円		

直方市の
台所事情を
チェック
してみよう

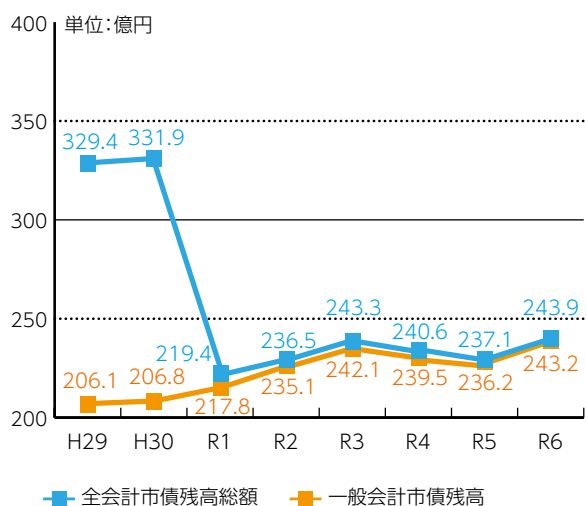
問い合わせ

財政課
(TEL 25-2231)

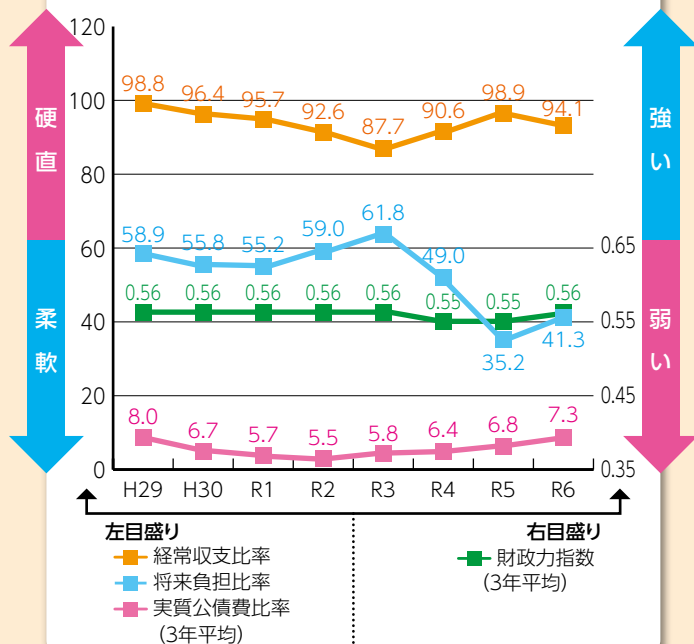
基金残高の変化 グラフ②



市債残高の変化 グラフ③



各種財政指標の推移 グラフ④



補助費等、災害復旧費が前年度より減少していますが、人件費、扶助費、公債費、普通建設事業費、繰出金が増加しています。

公債費については、市営住宅の建て替えや、し尿処理場建設等、大型事業のための借入金の償還開始に伴い、今後も増加していくことが見込まれています。

なお、特別会計の決算は表①のようになります。

CHECK 2 気になる貯金(基金)と借金(市債)の残高は

貯金・借金ともに増加

令和6年度末時点での基金(貯金)と市債(借金)の残高の推移は左図グラフ②、グラフ③のようになります。

基金残高は約88億4千万円、このうち一般会計分は約75億4千万円、一般会計分の中でも使いみちが特定されていない財源の調整に使える基金は約47億2千万円です。

前年度に比べて、市の基金残高は

約3億6千万円増加しました。

次に市の借金である市債残高は、一般会計とその他特別会計も含めた総額で約243億9千万円となり、前年度に比べて約6億8千万円の増となっています。

市債残高の内訳は、一般会計で約243億2千万円(前年度より約7億円の増)、特別会計では、上頓野産業団地造成事業で約7千万円(前年度より約2千万円の減)となっています。

